

令和7年3月吉日
船橋希望学舎
世田谷区立船橋希望中学校
校長 市川 義文

令和6年度 前年度の改善方策について実行した改善結果

1 学習指導について

前年度の改善点の指摘を受け、引き続き生徒の「主体的な学び」や「学ぶ喜びを感じさせる」授業改善を行った。生徒の「私は主体的に学習に取り組んでいる」の肯定的評価が生徒全体で82.7%と昨年度より7.7%伸びた。これは生徒の学習についての評価項目が、ほぼどの項目も90%を超える肯定的評価を得ていることから、教員の授業改善の成果が出てきた証拠である。一方、生徒の「先生は提出物やテストなどをわかりやすく評価している」の肯定的評価が86%と他の学習についての項目より低いのが課題である。評価をさらに分かりやすくし、生徒の学習意欲を高めていきたい。

2 生活指導と進路指導（キャリア教育）について

生活指導については全項目とも、前年下がっていた肯定的評価が上がり、生徒では85%以上になった。また、「日頃からあいさつを心がけている」の肯定的評価が例年通り89%と高評価だが、その中の「とても思う」が昨年度より6%伸びたことに成果を感じる。今後は、校内のあいさつだけでなく学舎で取り組む「あいさつ運動」についても、生徒主体の意識を高め、校内や校外での日常のあいさつをキャリア教育と関連づけて生徒に捉えさせ、自信をもって世の中で生きていく指針となれるよう指導を行っていく。

進路指導（キャリア教育）についても、全項目で肯定的評価が9~18%上がった。これは教員が意識して取り組んだ成果と考える。しかし、上ったとはいえ、キャリアパスポートの活用の肯定的評価が61%と、他の項目が85%を超えていているのに比べ、成果が出ていない。引き続き活用法の研究を行い、指導に生かしていく。

3 保護者、地域との連携・協働による教育について

今年度は、すべての行事をコロナ前のように参観できるようにした。しかし、生徒数に対して施設が狭すぎるので、制約を付けなければならない状態になってしまう。より良い方法についてさらに検討したい。また、学校支援コーディネーターを介して、浴衣の着付け体験や職業講話などを実施できている。

今回の学校関係者評価アンケートでは、生徒の肯定的評価は高いものの、保護者の評価でどの項目にも10~30%程度の「分からぬ」という回答がある。HPの学校日記は毎日更新しているが、もう少し学校のこと、授業のことを保護者、地域に知りていただけるような情報発信のやり方について引き続き検討していく。

4 特色ある教育活動について

本校の特色であるNIEについて、行う内容を整理し、指導内容について学校全体で共通理解を図ったところ、生徒の「新聞に興味をもち自分の考えをもつようになった」が前年度比5%増という成果が得られた。しかし、肯定的評価は56%であり、成果が上がっているとは言い難い。次年度はさらに内容を重点化し意味のある活動を目指していきたい。